

経済建設常任委員会視察報告

副委員長 巽 久男

経済建設常任委員会は、令和5年10月18日から20日の日程で、石川県かほく市で「上下水道事業包括的民間委託・道の駅高松」を、大阪府大東市で「立地適正化計画」の行政視察を行いました。

かほく市では、業務の効率化による経費削減を図るため、「水道事業」「下水道事業」「農業集落排水事業」の包括民間委託を実施しています。その結果、2期目の5年間で約7,500万円の経費削減に成功しました。上下水道は重要なインフラであるため、民間委託は慎重に検討する必要がありますが、将来の選択肢の一つとして参考になりました。

また、同市の「道の駅高松」も見学させていただきました。指定管理者の（株）高松レストハウスは、市から管理料は一切もらっていない中で、800万円の黒字を達成しており、官民連携の事例として参考になりました。

大東市では「立地適正化計画」を策定し、『大東で働き、大東に住み、大東で楽しむ、子育てしやすい「職住楽」超接近のまちづくり』の方針を掲げ、商業などのエリアや、学術研究エリア、産業集積エリアを設け、効率的な都市を目指しています。安中市でも立地適正化計画策定に着手しており、内容を精査するうえで非常に勉強になりました。



ICT化・情報公開部会視察報告

議会改革推進特別委員会

ICT化・情報公開部会 部長 小林 克行

全国では6割を超える自治体がすでにタブレット端末を議会に導入しています。安中市議会も端末の導入を検討していることから、令和5年11月8日に先進自治体である富岡市に伺い、視察研修を行いました。

富岡市は令和元年度よりタブレットを導入しています。端末の種類は「iPadPro」で、NTTドコモとの4年間のレンタル契約です。セルラーモデルのため、Wi-Fi環境が無い場所でも利用可能となっています。画面サイズは、議員からの要望もあり12.9インチと大きめのサイズです。文書共有アプリの「サイドブックス」や、LINEとほぼ同じ機能を持つ情報連絡アプリ「リンクット」、議員全員で共有できるスケジュール管理アプリ「タイムツリー」を実際に操作させていただきました。アップルペンシルを使ったメモ書きも簡単にでき、その他のアプリも視覚的なデザインで非常に見やすく、端末活用の利点を数多く学ぶことができました。

ICTへの取り組みとして、タブレット端末導入の必要性を強く感じた研修でした。

